



# 須留が峰

令和5年度  
No.20

HPアドレス <http://yabuboard.ed.jp/yabu-jhs/>



令和5年12月13日 発行



## 2学期終業式までの7days

2学期が始まった8月25日に発行した学校だより(第12号)を見ると、「炎暑」や「酷暑」、「熱中症警戒アラート」といった文字が並んでいました。そう、確かに暑い夏でした。ただ、それがどれほどの暑さであったのか、その肌感覚をもう忘れてしまっている自分がいます。でも、この2学期に生徒たちが創り上げてきた数々の感動の場面は、今でも鮮明に覚えています。

授業日として82日を数える2学期も、残すところ7日になりました。先々週に期末テストを終え、先週から生徒たちの表情にも少しゆったりとしたものを感じています。(期末テストの結果も大いになると思いますが)、まずは一人一人がこの2学期での様々な場面を思い返しなが、ささやかでもいいので何か光る自分のがんばりを見つけ、いい心の形で2学期の終業式を迎えてほしいと願っています。残りの7daysを、自分自身はもちろんのこと、クラスや学年、学校の「2学期いいところ見つけ」の時間にしてくれるとうれしいです。

きっとそれが、3学期の、ひいては新年に向けた大きな心の糧になることと思います。この2学期のよさや勢いをぜひ次のステージにつないでいこう!!!



### 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて



今年度4月18日に小6と中3の児童生徒を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果概要が、養父市広報誌「やぶ」11月号に掲載されています。ご覧になりましたでしょうか。この掲載を受けて、本校の結果につきましても、その特徴的な概要をお伝えします。

\*この調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないことをご確認ください。

#### <教科に関する調査から>

\*全国平均値と比較して、±5ポイント以内の差は「同程度」と表現しています。

教科	国・県との比較	結果の考察
国語	同程度	古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉える問題など、全体的に正答率が高い一方で、読み手の立場に立って文章を整えたり、文脈に即して漢字を正しく書いたりする問題に課題が見られた。今後は、自分の考えが伝わる文章になるように、 <b>根拠を明確にして書くこと</b> や、同義語や対義語等にも触れさせながら <b>語彙力を高めていく学習活動</b> を取り入れていきたい。
数学	同程度	四則計算、文字を用いた式の活用、グラフのデータの読み取りなど、基礎的・基本的な問題について正答率が高かった一方で、空間図形に関する問題や、図形の性質を証明する問題等に引き続き課題が見られた。今後も、 <b>予想する事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えたり、条件を変えて考察したりする活動</b> を丁寧に仕組みながら指導にあたっていきたい。
英語	同程度	必要な情報を聞き取る問題など「聞くこと」に関する問題や、短い文章の概要を捉えるなど「読むこと」に関する問題について正答率が高い一方で、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことなど「書くこと」に関する問題に課題が見られた。今後は特に、 <b>相手や目的によって表現や文章構成を工夫し、一貫性のある文章を書く活動</b> に注力していきたい。「話すこと」については、国・県と同程度ではあったが、 <b>既習事項を生かして即興的に話すこと</b> も意識して取り組んでいきたい。

## ＜生徒質問紙による調査から＞

養父市全体の結果と同様に、「朝食を毎日食べていますか」「住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」といった問いに対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」といった肯定的な回答の割合は、国・県の状況よりも高い傾向にありました。その一方で、次の問いに対する肯定的な回答の割合が、国や県の状況に比べて引き続き低い傾向にあり、改善に向けた継続的な課題としてとらえています。

	質問項目	国・県との比較	結果の考察
①	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	ー約00ポイント	国や県での肯定的な回答の割合が8割近い状況に対して、本校の割合は6割弱。一方、「毎日、同じ時刻に起きていますか」という問いに対する肯定的な回答は、国・県と同程度の9割強の割合となっています。朝はルーティンとしてきちんと動けるけれど、夜の過ごし方について課題はないでしょうか。
②	自分にはよいところがあると思いますか	ー約00ポイント	国や県では肯定的な回答が8割を占める一方で、本校では7割程度。「当てはまらない」など否定的な回答の割合も、国や県が2割前後に対して本校は約3割の状況。生徒を日常的に認め、ほめて、支え伸ばすかかわりの必要性を感じています。
③	将来の夢や目標を持っていますか	ー約00ポイント	国や県では肯定的な回答が6割を超える一方で、本校では5割に満たない状況。生徒を日常的に認め、ほめながら、今後の生き方について考えを巡らすことができるような機会や活動場面の設定が必要なのではないかと、とらえています。
④	学校の授業時間以外に、普段(平日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか		「2時間以上」勉強している割合が、国や県では3割を越えている一方、本校では2割弱の状況で約00ポイントも下回っています。逆に、本校では「30分以上、1時間未満」が約3割を占めて最も高い割合である一方、国や県では1割程度しかありません。このデータからも、本校の生徒の家庭学習の時間は確実に少ないといえます。家庭学習の習慣化をどう図るかは、本校の大きな課題のひとつです。現在取り組んでいる1年生の「どんぐり大収穫祭」、2年生の「イクラ井プロジェクト」は、家庭学習を促進するためのひとつの試みです。家庭学習のための時間と場所の確保について、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

18日(月)・19日(火)の期末保護者会では、お時間を割いていただき、ありがとうございます。上記の本校の状況も踏まえつつ、生徒一人一人の生活に関すること、学力の状況等についてお話ししながら、今後の改善・向上に向けてご家庭と共通理解を図る機会になればと思います。よろしくお願いいたします。

## トピックス



12月5日(火)、2年生学年PTA事業として「親子進路学習会」が開催されました。本校の教員による高校の入試制度の概要説明とともに、県立八鹿高校の松元先生をお招きして、高校生活の充実に向けてこれから伸ばしていきたい力、求められる力について講話をしていただきました。

会の最後には、学級閉鎖で文化祭に出演できなかった2年2組が合唱を披露し、しっかりと歌声を響かせました。たくさんの拍手をいただき、ありがとうございました。またひとつ感動の場面が加わりました。

12月7日(木)、関西電力による「エネルギー・環境出前教室」が開催され、2年生が受講しました。

電気の使い方や省エネの大切さ、地球温暖化問題などについての講話と、発電の仕組みに関する数々の器具を用いた実験を通して、楽しく学習することができました。



## 部活動の大会結果

ソフトテニス部	11/19(日)	神美台スポーツ公園テニスコート	<b>＜1年生のじぎくカップソフトテニス大会＞</b> ○○-○○ペアが予選リーグ(香住第一中、豊岡南中)を勝ち抜き、トーナメントに進出。出石中に勝利し、ベスト8入りを果たしました。3月の中央大会(県大会)に出場します。
---------	----------	-----------------	---

「To Be a Good School」(良い学校をつくろう)